

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

釜石支援センターも閉所となり、今月中に撤収することになりました。今回は、閉所礼拝の様子や、8月に派遣聖職として行かれた松井先生からの報告をお届けいたします。

【支援センター閉所礼拝】

支援室長 司祭 飯野正行

8月30日(金)午後5時より、釜石被災者支援センターの閉所式・感謝礼拝が行われました。40名ほどが集い、大町司祭司会により、飯野司祭司式、李チャンヒ司祭の祈り、大友司祭説教により礼拝が行われ、とても心にしみる礼拝でした。「センターの働きは終わるが、釜石の人々の負った経験は失われぬ。私たちの祈りも、出来る形での支援も終わらない」と大友司祭は語られました。礼拝後の感謝会では海老原センター長が「センターは、支援活動は、僕の命。命である以上は終わらない。今後も祈りとご協力をお願いしたい」と語られ、来賓の紹介と数名の方々にスピーチをいただきました。午後5時からの閉所式であり、暗くもなって来ますので仕方の無い事かも知れませんが、いつもセンターに来てくださっていた被災された方々に一言でもスピーチをお願いしたかったと心痛めております。

センターの片付けはもう始まっています。今後の活動の上にも、主のお導きと祝福がありますように。

【釜石にて】

司祭 松井新世

釜石ベースが締まる直前のボランティアと言うことでの感想を、と言うことですが、まず、二日目に驚いたのは、何とも言えない穏やかな雰囲気でした。海老原室長によるとここ半年で、と言うことでしたが、市民ボランティアの成熟がそう感じさせたのでした。来訪者を自然にもてなし、配慮し合う。明日の、一週間の当番も彼女たちが自主的に決めていたのです。私も心穏やかに過ごすことができました。とはいうものの、少し町を歩くと、それほど変わってはいないことに落ち込むのです。いくつかの仮設プログラムの中で聞こえてくるのは、(ベースの中でのお話も)、仮設の中での人間関係や噂、そして今後のこと。ちょうど私の滞在時は、「復興住宅」の案内と予約の時期でありました。より良い場所を、より広い空間を、人であれば当然願うべきものですが、そうであればある程悩むのです。仮設での人間関係に悩む人もいれば、一方で、この間に生まれた暖かな関係もあります。「一緒に入りたいね」と互いに約束し合う言葉に、胸熱くならない者がいるのでしょうか。「不謹慎だから」といいながら、「こういうことになって(→震災)良かった。」と口ごもりながら話す方も。でも、年齢などの考慮はあるそうですが、基本は抽選です。希望の所には入れなければ、別の場所での新生活となります。しかも、5～6年後の完成だそうです。ため息も聞こえてきます。少し落ち着いてきたのか、人によってでしょうが、心を開けてきた方が増えてきた印象がありました。

過日、あるボランティアさんが言いました。「聖公会の皆さんには大変お世話になりました。みなさんにお伝えください。」と。同時に「これまでベースで迷惑をかけてきたことを恥ずかしく思う」とも。

最後の二日間は、これまで行けなかった会津若松と福島にまいりました(夜中に釜石に戻り翌朝釜石を出ました)。同労者に会う目的でしたが、本当のところは、涙を見せずに、帰りがかったからではなかったかと今、自身に問かけるのです。

二年間の釜石での歩みは終わり、とは言いたくない自分がいます。復活したイエスさまにマグダラのマリアが「ラボニ」と、しがみつこうとする時、主は「私にすがりつくのはよしなさい。」とおっしゃったように。第2のステージがやってきたと思いたいのです。そこで新しい復活の主との歩みを、釜石の皆さんと共に始めたいのです。神に感謝

【支援センター閉所ボランティア派遣】

8月一杯でセンター業務は停止をしましたが、まだ支援センターをお返りする作業が残っています。同時に新体制への移行作業を行うため、ボランティアを9月24日(火)～28日(土)の日程で派遣します。大町司祭を含め7名がお手伝いしていただきます。一昨年8月より始まった被災者支援センターの最後を飾る働きとなります。どうぞお祈りのうちにおぼえていただければ幸いです。

【釜石での活動】

8月17日

さて本日は仙台基督教会チームが一日ボランティア。昨年12月に聖歌隊でミニコンサートを開いてくださった方々です。午前は野田方面の仮設で「レース編み」の配布。大館聖パウロ教会と東京のマーガレット教会のコラボ作品です。しかし午前はバッドタイミング。なんと我らが花巻東の試合と重なっていたのです。その延長戦にもつれ込む大熱戦。とあるボランティアは「いまそれどこではない」と怒られたそうです。

午後は小佐野あたりの仮設で「レース編み」を持っての戸別訪問。こちらでは花巻東勝利の余韻もあったのか笑顔あふれる訪問活動になりました。仙台基督チームの赤坂さん・中村さん・尾崎さん・田中さん、アツイ中ご苦労様でした。グッドジョブです。

さて私は明日の盆踊り大会の準備などもあって忙しい一日。その暑さ・寒さ・面倒臭いことに弱い軟弱人間の本領発揮でダラダラと仕事をした感じ。

8月22日

昨日は上中島仮設夕涼み会。我々は焼きそばとかき氷を出店。地元ボランティア8名と松井先生がご奉仕くださいました。最後にごま油で仕上げる我が焼きそばは大好評。約150食を提供しました。みなさんご苦労様でした。

私は夕涼み会の総合司会を仰せつかり、みなさんのお支えを得て無事に大役を果たすことができました。感謝。

今回のイベントで素晴らしいのは上中島仮設のお祭りを甲子町C・D仮設自治会がサポートしたことです。この様な仮設間に協働はあまり例がなく、画期的でした。とても素晴らしいことでした。みなさんで準備した上中島音頭も大成功。みんなで作った音頭をみんなで作ったハッピーを着て踊った様子はNHKの全国ニュースでも流れたようです。私の若き日の高倉健のような浴衣姿も映っているらしいです。

8月27日

本日午前は二階にこもり事務仕事。このところ来客が多く滞っていたお仕事を一挙にやっつけました。夏のお祭りの収支もばっちり。

松井先生は一日センター。Hさんとのコンビです。集まった常連さんと深い話しをしていました。松井先生は大人気です。話しの端々に「神様は」とか、「イエスさまは」とかという話しが入るのですが、それが自然に受け入れられているのがすごいのです。

8月30日

本日午前は名古屋学院大チームのまとめふりかえりや、あいさつ回り、来客対応など。いろいろあってスケジュール変更をして名古屋学院大チームにはご迷惑をかけました。ごめんなさい。

午後は名古屋学院チーム二名が松倉のエアロビの会、3名と大友先生は甲子町の仮設でタコ焼きパーティー。エアロビを超ハードだったそうです。タコ焼きは大好評。どちらも楽しいプログラムになりました。とっても気の利く名古屋学院チームは今回もとてもグッドなボランティアを展開しました。流石です。またね。二回目のびろびろこと廣田さん・シガニーこと三浦君・ギブアップこと岡田君・鉄八郎こと太田君、ご苦労様でした。忘れないでください。

さて本日17時より釜石被災者支援センターの閉所礼拝が行われました。ともに祈ってくださった各仮設やセンター常連のみなさま、地元ボランティアのみなさま、関係団体のみなさま、ありがとうございます。なんと約40名の方がお集まりくださいました。礼拝を行ってくださった飯野司祭・大友司祭・李司祭・大町司祭に感謝申し上げます。

センターは2年と1か月の歴史に幕をおろします。お配りしている挨拶文を下記に掲載しますのでお読みください。

釜石被災者支援センターは私の命でした。至らない部分もたくさんありましたが、心血を注いでみなさまと育て上げた命です。私が命と言うからには、キリスト者である私が命と言うのであれば、それは永遠です。センターは終わりますが、そこで培われた様々な関係は永遠です。そして新たな命を生み出し、それを育てゆきます。私はそのことを信じています。

多くの方々の祈りとご支援に支えていただきました。ただただ感謝申し上げます。どうかこれまで同様にお支えください。最後にいつも暖かく迎え入れてくださった釜石のみなさまに感謝いたします。また今後もこれまで同様によりしくお願い致します。

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。

◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp